

2010年度末の財政状況について

■ 貸借対照表 要旨

(単位:百万円)

科 目		2009年度 2010年3月31日現在	2010年度 2011年3月31日現在
資産の部	現預金	32,971	35,607
	有価証券	1,377,372	1,344,587
	国内債券	589,337	661,472
	株式	44,982	39,949
	外国証券	690,679	612,928
	その他の証券	52,372	30,237
	貸付金	45,544	35,370
	保険約款貸付	12,977	12,382
	一般貸付	32,566	22,987
	有形固定資産	27,967	8,349
	土地	13,649	2,509
	建物	11,513	2,998
	その他の有形固定資産	2,804	2,840
	無形固定資産	11,314	3,869
	ソフトウェア	3,681	3,869
	既存保険契約評価額	7,630	—
	その他の無形固定資産	2	—
その他資産	26,036	20,589	
繰延税金資産	33,267	39,352	
貸倒引当金	△6,043	△5,119	
資産の部合計	1,548,431	1,482,605	
負債の部	保険契約準備金	1,373,656	1,311,077
	支払備金	12,767	12,597
	責任準備金	1,347,424	1,286,821
	契約者配当準備金	13,464	11,657
	その他負債	12,154	13,460
	退職給付引当金	26,821	26,566
	役員退職慰労引当金	226	197
	価格変動準備金	1,863	2,686
	負債の部合計	1,414,721	1,353,987
純資産の部	資本金	45,000	45,000
	資本剰余金	15,000	15,000
	資本準備金	15,000	15,000
	利益剰余金	67,297	72,990
	利益準備金	21	291
	その他利益剰余金	67,276	72,699
	繰越利益剰余金	67,276	72,699
	株主資本合計	127,297	132,990
	その他有価証券評価差額金	6,412	△4,372
	評価・換算差額等合計	6,412	△4,372
	純資産の部合計	133,709	128,618
負債および純資産の部合計	1,548,431	1,482,605	

有価証券

高格付けで信用リスクの低い内外公社債で運用しており、安定性と中長期的な収益性のバランスに十分に配慮した投資を行っています。なお、外国証券には外貨建保険と同一通貨で運用され、為替リスクを有さない公社債が含まれています。

貸付金

貸付金に対するリスク管理債権の割合は3.9%であり、かつ全て適正な引当処理を行っています。

既存保険契約評価額

更生計画の認可時点で、残存する保険契約の将来10年間に生じる収益を保険数理計算により評価し、3,000億円の評価額を資産に計上しましたが、当期末をもって償却を完了しました。

繰延税金資産

前払いした税金に係わる将来の回収可能額と、有価証券の含み損益が実現した際の税金相当額との純額を貸借対照表に計上しています。

貸倒引当金

リスク管理債権に該当しない貸付金(正常先債権や要注意先債権)に対しても、倒産確率に基づき、十分な引当金を計上しています。

責任準備金

責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については、標準責任準備金または平準純保険料式により計算した額を積み立てています。

価格変動準備金

株式など価格変動の大きい資産について、その価格が将来下落したときの損失に備え積み立てている準備金です。

その他有価証券評価差額金

その他有価証券の含み損益△81億円に対し、税効果後の△43億円をその他有価証券評価差額金として計上しています。

(注)金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

2010年度の経営成績について

■ 損益計算書 要旨

(単位:百万円)

科 目		2009年度 2009年4月1日～2010年3月31日	2010年度 2010年4月1日～2011年3月31日
経常損益の部	経常収益	324,038	334,115
	保険料等収入	184,618	195,910
	保険料	183,940	195,379
	再保険収入	677	531
	資産運用収益	75,958	70,918
	利息および配当金等収入	49,012	44,646
	有価証券売却益	16,452	26,267
	為替差益	4,791	—
	その他運用収益	0	4
	特別勘定資産運用益	5,702	—
	その他経常収益	63,462	67,287
	責任準備金戻入額	57,876	60,602
	その他の経常収益	5,585	6,684
	経常費用	307,937	331,966
	保険金等支払金	217,667	196,918
	責任準備金等繰入額	633	16
	資産運用費用	18,727	67,510
	有価証券売却損	1,349	11,310
	有価証券評価損	7,409	18,542
	為替差損	—	26,252
その他運用費用	9,968	9,554	
特別勘定資産運用損	—	1,851	
事業費	50,656	51,370	
その他経常費用	20,252	16,150	
既存保険契約評価額償却	10,740	7,630	
その他の経常費用	9,511	8,519	
経常利益	16,101	2,149	
特別損益の部	特別利益	1,331	13,983
	固定資産等処分益	1,331	13,983
	特別損失	6,603	7,173
	固定資産等処分損	5,617	5,590
	減損損失	77	23
	価格変動準備金繰入額	908	823
	資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	252
	その他特別損失	—	483
	契約者配当準備金繰入額	2,438	2,284
	税引前当期純利益	8,391	6,675
法人税および住民税	237	181	
法人税等調整額	1,649	△549	
法人税等合計	1,887	△367	
当期純利益	6,503	7,042	

保険料等収入

外貨建一時払年金保険の販売が好調であったことなどから、保険料等収入は1,959億円、前年同期比106.1%と増加しました。

資産運用収益

資産運用による収益で利息・配当金や有価証券の売却益等が含まれます。

保険金等支払金

保険金等支払金のうち、解約返戻金は前年同期比78.6%となりました。

有価証券評価損

保有有価証券のうち、時価の下落により一定の含み損に達した銘柄について、簿価と時価との差額を減損処理したものです。当社では保守的かつ厳格な基準を設定し、財務の健全性の維持を図っています。

為替差損

外貨建取引に関する為替換算損益等を計上しています。外貨建保険に係わるものが大部分を占めており、為替差損の大半は責任準備金戻入等で相殺されています。

利益

経常利益は21億円、当期純利益は70億円となりました。

なお、臨時的な損益を除いた基礎利益(保険本業での利益)は231億円を確保しています。さらなる収益向上、コスト削減に向けた取り組みを続けていきます。

■ 基礎利益(経常利益等の明細) 要旨

(単位:百万円)

	2009年度 2009年4月1日～2010年3月31日	2010年度 2010年4月1日～2011年3月31日
● 基礎利益(A)	23,514	23,184
キャピタル収益	21,243	51,590
キャピタル費用	15,859	58,071
キャピタル損益(B)	5,384	△6,481
臨時収益	2,996	1,489
臨時費用	15,794	16,041
臨時損益(C)	△12,797	△14,552
経常利益(A)+(B)+(C)	16,101	2,149

基礎利益

1年間の保険本業の収益力を示す指標の一つで、一般事業会社の「営業利益」や銀行の「業務純益」に近いものです。これに有価証券売却損益などの「キャピタル損益」と「臨時損益」を加えたものが「経常利益」となります。

(注)金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。